

## 保証書

型名	No.5600 前後録画ドライブレコーダーミラー		
保証期間	1年間	お買上げ年月日	年 月 日
お客様	住所	〒 TEL( ) -	
	お名前	ふりがな 様	
販売店	住所・店名 TEL		

この度は、弊社製品をお求めいただきありがとうございます。本書は本記載内容で無償修理することをお約束するものです。

- 取扱説明書に従っての正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参ご提示の上お買上げの販売店または弊社にご依頼ください。
  - 二次的に発生する損失の補償および、下記のような場合には、保証対象には含まれません。
    - 1) 使用上の誤り、あるいはメンテナンス等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
    - 2) 不当な改造や修理による故障および損傷。
    - 3) お買上げ後の移動、落下などによる故障および損傷。
    - 4) ご使用後のキズ、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷。
    - 5) 消耗が起因とする故障および損傷、または消耗品の交換。
    - 6) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは外部要因による故障および損傷。
    - 7) 本書のご提示がない場合。
    - 8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
      - ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
  - 本書は日本国内においてのみ有効です。
    - ※なお、保証の要否は、大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な点がある場合は、お買上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

## 大橋産業株式会社

〒570-0033 大阪府守口市大宮通3丁目1番14号 TEL06-6996-2631

URL▶ <http://www.bal-ohashi.com>

## アフターサービス

- 保証書について
 

保証書は必ず「お買上げ年月日、お買上げの販売店名」等の記入をお確かめのうえ、お買上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日から1年間です。

この保証書は、本製品のみの保証であって、本製品以外の故障、損害、修理等の責任は一切負いかねます。
- 修理のご依頼について
 

保証期間内は恐れ入りますが、製品に保証書を添えて、お買上げの販売店までご持参ください。保証規定にもとづき修理させていただきます。
- 補修用性能部品の最低保有期間
 

この商品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切り後6年間です。
- アフターサービス等について、ご不明な点がございましたら、お買上げの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

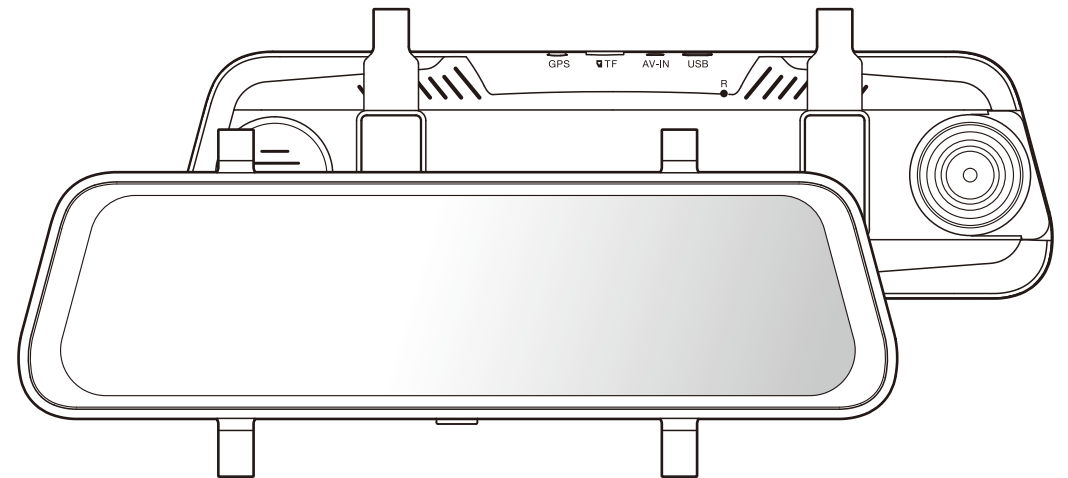
商品に関するお問合せは:

 **0120-076-074**

※携帯・PHSからもご利用いただけます。  
(受付:平日9時~12時/13時~17時30分)

前後録画  
ドライブレコーダーミラー

## 取扱説明書 保証書付



このたびは「前後録画ドライブレコーダーミラー」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書の注意事項および使いかたをよく読んで、正しくお使いください。なお、この取扱説明書には保証書がついております。読んだ後も大切に保管してください。

## もくじ

安全にお使いいただくために	P.1
本製品について	P.1
取り付けについて	P.2
使用上のご注意	P.2
梱包内容一覧	P.3
各部の名称とはたらき	P.4
microSDカードの取り扱い	P.4
取り付けかた	P.6
電源接続コードの取り付け	P.7
リヤカメラの配線と取り付け	P.7
GPSユニットの取り付け	P.8
使いかた	
電源ON/OFFについて	P.9
液晶モニター表示	P.9
リバースギヤ運動表示	P.11
録画について	P.11
設定メニュー画面	P.13
静止画像を撮影する	P.14
再生モード	P.14
ファイルの表示	P.15
映像の再生	P.15
ファイル名について	P.15
ファームウェアについて	P.16
故障と処置	P.16
交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度について	P.18
PCビューアについて	P.18
製品仕様	P.18

## ■安全にお使いいただくために

### ケガや事故を防ぐために必ずお守りください。

#### 絵表示について：

この取扱説明書に示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いにより生じると想定される内容を「危険」、「警告」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要なことですのでよく理解し、必ずお守りください。



**危険**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### ■表示について

**重要**

この表示のある記載内容は、ご使用になるうえで非常に重要な内容を示しています。本製品をご使用になる前に必ずお読みください。

#### ■免責事項について

本製品の使用や故障によって生じた損失およびmicroSDカードに記録された映像やデータの破損、それらによる損害については、弊社はその責任を一切負いかねます。仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。本製品の誤った取り付け、使用による事故などの責任は一切負いかねますのでご了承ください。



**注意**

- 事故発生時は録画ファイルが上書きされないように必ずOFFにしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。または本製品の電源を抜いてください。
- 取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一それに伴う損失が発生しても弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

**重要**

- 初めて使用するときは必ず本製品でmicroSDカードのフォーマットを行ってください。また1～2週間に一度、microSDカードをフォーマットしてください。

※フォーマットのしかたは、P.5 “microSDカードのフォーマットのしかた”の項目を確認してください。



#### microSDカードのフォーマットは必要ですか？

microSDカードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域(不良セクタ)が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」「必要なファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。1～2週間に一度microSDカードをフォーマットすることで、正常に記録することができますので必ずフォーマットを行ってください。

## 本製品について



**警告**

- 本製品はDC12V/DC24V車(マイナスアース車)専用です。
- 本製品は車載専用です。他の用途で使用しないでください。
- 本製品は日本国内での使用を目的として設計・製造されています。海外での使用はできません。
- 分解したり修理したりしないでください。火災、感電、ケガの原因となります。
- 走行中に運転者は操作をしないでください。また画像・表示を注視しないでください。走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。操作の際は必ず安全な場所に停止しサイドブレーキをかけた状態でご使用ください。
- 必ず付属品や指定の部品を使用してください。指定以外の部品を使用すると、本体内部が故障したり、固定できずに外れるなど、事故や故障の原因になることがあります。
- 本製品は精密機器です。静電気・電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。
- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品を取り付けたことによる、車両の変色・変形(跡が残る)に関して、弊社は補償いたしかねます。
- 本製品の外観・アイコン・表示名・表示の内容は、実際とは異なったり改良のために予告なしに変更することがあります。
- 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
  - \* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。

- 本製品が故障したり、発煙や異臭が発生している状態で使用しないでください。そのような状態で使用すると発火などの原因になります。直ちに使用を中止してください。
- 本製品に強い衝撃を与えないでください。落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障の原因になることがあります。
- 本製品を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故などの付随的損害について弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品には1年間の保証がありますが、microSDカード・接続コード類・固定バンドなどは保証対象外となります。

## 取り付けについて



**注意**

- 配線・取り付け/取り外しは、専門の技術者に依頼・相談してください。取り付けと配線は専門技術と経験が必要です。
- 運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼすような場所へは絶対に取り付けしないでください。
- 取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しないでください。
- 本製品の取り付け・配線後は、車両の電装品などが正常に作動するか確認してください。車両の電装品(保安部品・ナビゲーションや操作パネルなど)が正常に作動しない状態で走行した場合、事故の原因になります。
- コード類は、運転や乗降の妨げにならないように引き回してください。運転操作や乗降の妨げにならないようにまとめたり固定するなど、配線の処理をしてください。適切に処理しないと事故やケガの原因になります。
- 取り付け・配線作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーのマイナス端子を繋いだまま取り付け・配線作業をすると、ショートなどの原因になることがあります。
- 使用しないコードの先端や金属部分が露出している場所は、必ず絶縁処理をしてください。車両の金属部分に接触するとショートや発火の原因になることがあります。
- 本製品を車両に穴を開けて取り付けするときは、配線やパイプなどの位置を確認してから取り付けしてください。取り付けるときは配線やパイプ類に接触しないようにしてください。また振動しないように確実に固定してください。
- 電源接続コードは付属品を必ず使用し、アクセサリプラグはアクセサリソケットへ奥まで確実に差し込んでください。アクセサリプラグを奥まで確実に差し込んでいない場合、接触不良によりプラグ本体が発熱しプラグを変形させるばかりではなく火災の原因になります。
- 各コード類を傷つけないでください。また、傷ついたコードは使用しないでください。傷ついた箇所がショートし火災の原因になります。
- 電源接続コードのプラグに内蔵されているヒューズが切れた時は、必ず同じ定格のヒューズと交換してください。定格以外のヒューズや針金などを使用すると、異常過熱や発火の原因になります。
- 高温になる場所などあらゆる熱源から離して取り付けしてください。直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると本体内部の温度が上昇し故障の原因になることがあります。
- 振動の多い場所や不安定な場所へ取り付けしないでください。振動の多い場所や強い曲面などに取付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やケガの原因になることがあります。
- リヤガラスがプライバシーガラスのときやフィルムを貼っている車両は、夜間映像が見えにくいことがあります。リヤカメラを車外へ取り付けることをお勧めします。
- リヤカメラの取り付け位置によっては、ハイマウントストップランプの光や後続車両のライトにより映像が見えにくいことがあります。また、車内に取り付けたときは、光の差し込み具合などにより車内がリヤガラスに映り込み、映像が見えにくいことがあります。
- ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時などに鮮明に記録できないことがあります。
- シートベルトやエアバックなどの安全装置の動きを妨げる場所には取り付けしないでください。事故の際に安全装置が働かず、ケガの原因となります。
- リヤカメラの取り付け位置がリヤガラスの電熱線と重ならないように取り付けしてください。
- ラジオやテレビアンテナなどの近くにリヤカメラの配線を行うと、ラジオやテレビの受信感度が下がることがあります。
- 取扱説明書に従い正しく取り付け・配線をしてください。従わない場合は事故や故障の原因になります。
- タバコや可燃物および火気の近くで使用しないでください。また埃などの多い場所で使用しないでください。故障の原因になります。
- 本製品は防水、防滴ではありません。湿度が極端に高い場所や水などがかかる場所へ設置しないでください。漏電・感電や故障の原因になります。また、故障の原因となる悪環境下でも使用しないでください。
- 道路の状況により振動で本製品の取り付け位置がずれることがあります。適時適切な位置に固定されているか確認してください。
- 子供・乳幼児が容易に触れることができる場所へは設置しないでください。
- 液晶モニターは周囲の温度が約75℃以上になると、液晶モニター全体が黒くなったり、約-10℃以下になると映像が遅れて表示されたりすることがあります。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
- 炎天下などの日よけを使用する際は、本製品をフロントガラスとサンシェードなどの間に挟み込ませないでください。熱がこもりやすくなるため本製品の故障に繋がることがあります。
- 本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こすことがあります。
- 各種コード類は束ねないように設置してください。設置方法や場所によってはノイズの影響を受けることがあります。

## 使用上のご注意



**注意**

- 本製品を使用中の交通事故、交通違反に関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。安全運転を心がけてください。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は全ての状況においての映像を記録するものではありません。また、事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 本製品を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故などの損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品の衝撃感知機能について、衝撃が小さすぎるときや、極端に衝撃が大きい事故などの場合、正常に録画や記録ができないことがあります。
- 本製品の記録は完全に起動するまで記録は開始されません。完全に起動してから運転してください。
- 本製品のボタンやタッチパネルに過度な力を加えないでください。故障や破損の原因になることがあります。

## ⚠ 注意

- ⚠ 本製品を取り付けるときはエンジンを停止してください。ONの状態を取り付けると感電および故障の原因になります。
- ⚠ 本製品に磁気をおびているものを近づけないでください。本製品の誤作動および故障の原因になります。
- ⚠ 車両のガラスと本製品のレンズ表面をきれいにしてください。ホコリや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できないことがあります。また、タバコやホコリなどにより鮮明に録画できないことがあります。
- ⚠ トンネル入出時のように、急に明るさが変化するときや逆光が強いとき、夜間光源が無いなどの条件下では、録画画質が低下することがあります。
- ⚠ LED方式の信号機では画面がちらついたり、点滅しているような映像が記録されたり、色の認識ができないことがあります。
- ⚠ 地デジなどテレビやオーディオ類のアンテナ付近や電装品の付近に取り付けると、アンテナ感度の低下やチャラツキ、ノイズの原因になることがあります。
- ⚠ microSDカードの保存容量に注意してください。緊急録画で記録された動画は上書き保存されないため、緊急録画のファイルが増えるとmicroSDカードの保存容量が不足し録画できなくなります。必要に応じてファイルを削除してください。

## ■ 梱包内容一覧

取り付けおよび接続する前に必ず以下の同梱物を確認してください。

- 本体
- リヤカメラ（防水、防塵）
- リヤカメラ車内取付用ステー
- GPSユニット（1.7m）
- リヤカメラ接続コード（7m）
- 電源接続コード（3.5m）
- 固定バンド（2本）
- microSDカード 16GB（Class 10）  
※本体挿入済み
- リヤカメラ用両面テープ
- 取扱説明書（本紙）

### オプション品（別売）

- 接続コード No.5601（3.5m）
- リヤカメラ延長コード No.5602（3m）

## ⚠ 使用上のご注意

### 電源接続コードについて

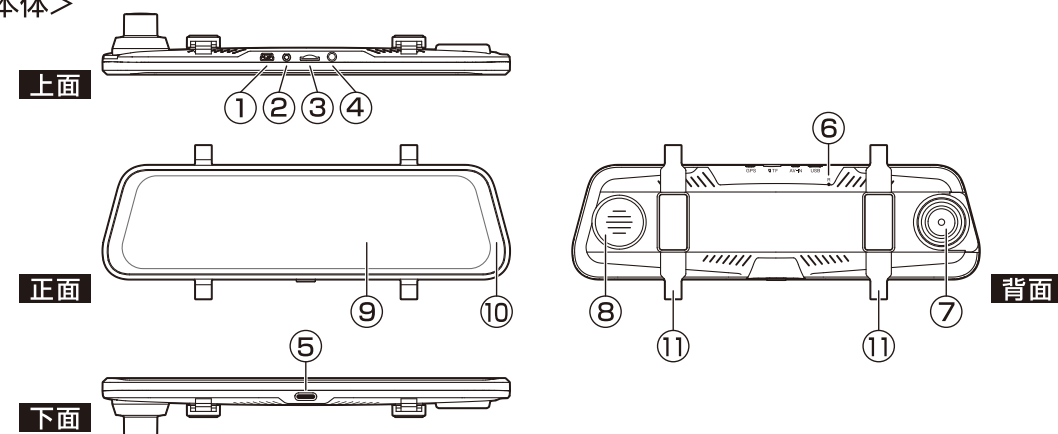
- 電源接続コードのアクセサリプラグは車両のアクセサリソケットに直接接続してください。増設ソケットや延長ソケットに接続したときはご注意ください。接触不良による誤作動やプラグの発熱により、故障の原因になります。
- 電源接続コードを接続したとき、車両によりエンジンが停止してもアクセサリソケットに電源が供給されている車両があります。バッテリー上がりの原因になりますのでアクセサリプラグをアクセサリソケットから抜いてください。
- 電源接続コードは途中で切断しないでください。※アクセサリプラグ内で変圧しています。

### 本製品の日付と時刻について

- 本製品の日付と時刻は GPS ユニットの本体に接続し、GPS を受信すると自動で設定されます。日付と時刻は動画ファイルの表示画面に記録されます。
- ※ GPS が受信できない環境に長期間保管した場合、時刻にズレが生じることがあります。
  - ※ GPS ユニットの接続していないときは手動にて日付と時刻を設定してください。（P.13 参照）
  - ※ トンネルや高層ビル街などは GPS が正しく受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

## ■ 各部の名称とはたらき

### <本体>



- ① 電源接続コードminiUSB ポート  
付属の電源接続コードを接続します。  
（オプションの接続コードを接続します。）  
⚠ 注意：当社指定の接続コード以外は絶対に接続しないでください。正常に作動しなかったり、故障の原因になります。
- ② リヤカメラ接続ポート  
付属のリヤカメラ接続コードを接続します。
- ③ microSD カードスロット  
microSD カードを挿入します。  
（工場出荷時本体に挿入済）
- ④ GPS ユニット接続ポート  
付属のGPS ユニットの接続コードを接続します。
- ⑤ 電源ボタン／モード切替ボタン  
短押し（電源ON時）：カメラ画面／走行モード／液晶OFFの順番に切り替わります。  
長押し：電源のON/OFFができます。
- ⑥ リセットボタン  
電源がONのときにリセットスイッチを押すと、本製品が再起動します。  
⚠ 注意：本製品が正しく作動しなくなった時に押してください。  
⚠ 注意：リセット中はSDカードの抜き差しはしないでください。
- ⑦ フロントカメラ  
⚠ 注意：工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。  
ご使用前に剥がしてください。
- ⑧ スピーカー  
操作音やファイル再生時に録音された音声が出力されます。
- ⑨ 液晶モニター（タッチパネル式）  
⚠ 注意：工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。  
ご使用前に剥がしてください。
- ⑩ ルームミラー  
⚠ 注意：この（端）部分をタッチしても液晶画面は反応しません。
- ⑪ 取付固定具  
固定バンドを引っ掛けるときに使用します。

## ■ microSDカードの取り扱い

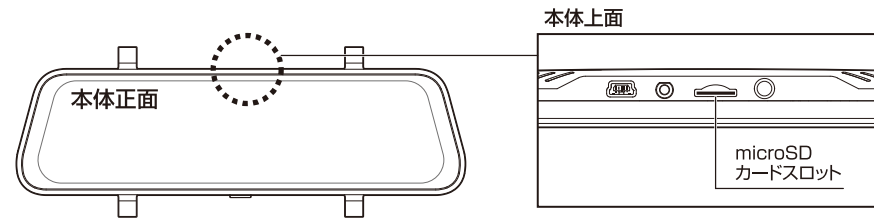
### ⚠ 使用上のご注意

- 指定外のmicroSDカードを使用すると記録ができない恐れがあります。 ※付属のmicroSDカードは16GB Class10です。
- 本製品は8GB～128GB Class10のmicroSDカードに対応しています。ただし全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- Class10を謳っていてもUHS規格の製品は動作しないことがあります。
- microSDカードの容量によっては起動時間が変動することがあります。
- 市販のmicroSDカードによっては、認識しないことやmicroSDカードスロットへの抜き差しがしにくいことがあります。
- 本製品の電源が起動した状態でmicroSDカードの抜き差しをしないでください。抜き差しの際は本製品の電源を必ずOFFにしてください。
- 思わぬ故障や破損等により、microSDカード内のデータが消失する可能性がありますので、定期的にデータのバックアップをお勧めします。
- microSDカードの定期的なフォーマットをお勧めします。長期間使用すると記録容量不足となり記録できないことがあります。※推奨1～2週間
- microSDカードのフォーマットは必ず本製品で行ってください。パソコンなどでフォーマットしたときは本製品で認識しないことがあります。
- microSDカードをフォーマットすると、記録された内容が全て削除されます。予めパソコンなどにバックアップすることをお勧めします。
- フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生したときに、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSDカードは消耗品です。正常に作動していても繰り返しデータを書き換えることにより長期間使用すると正常に記録できなくなる場合があります。定期的に新しいmicroSDカードと交換することをお勧めします。
- microSDカードのエラー発生時は、記録ファイルが復旧できないことがあります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷において、弊社は一切の保証を負いかねます。

## microSDカードの取り扱い

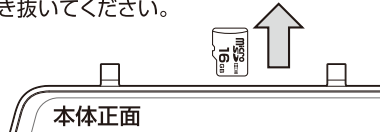
### [microSDカードの取り出しと挿入]

microSDカードを取り出し/挿入する前に必ず本製品の電源がOFFになっていることを確認してください。※本製品が起動中にmicroSDカードの取り出し/挿入をするとデータの破損や消失の原因になります。



#### microSDカードを取り出すとき

カードを押込み、カードが少し飛び出してきたら引き抜いてください。

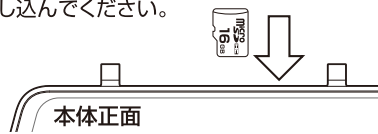


microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。差し込みが不十分な時はカードが少し飛び出します。

#### microSDカードを差し込むとき

microSDカードの向きに注意してスロットに差し込んでください。



### 最大録画可能時間について

microSDカード容量	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB	
最大録画可能時間	1080P	約40分	約80分	約170分	約340分	約680分
	720P	約50分	約100分	約210分	約420分	約840分

※フロントカメラ + リヤカメラの場合 ※microSDカードのシステム領域は含まれません。

- 最大録画可能時間はあくまでも目安の数字となり、録画環境などにより変動します。
- 最大録画可能時間は、常時録画・緊急録画・静止画を含めた録画時間の合計です。
- 緊急録画のファイル数が増え、ファイル保存割当ての上限に達すると、緊急録画ができなくなります。必要に応じてファイルを削除またはmicroSDカードの内容をバックアップして、microSDカードのフォーマットをしてください。


#### 必ずお守りください

本体ディスプレイに「SDカードをフォーマットしてください」が表示されたときは、

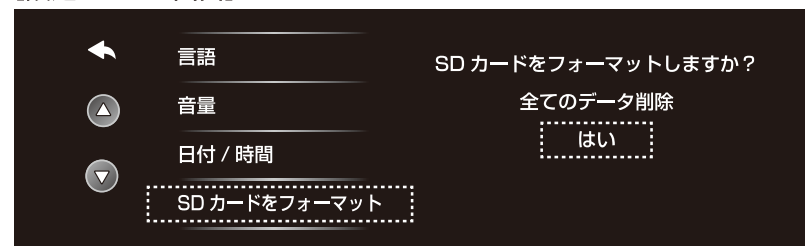
**安全な場所に停車し、フォーマットを行ってください。**

緊急録画の保存が上限に達すると、●緊急録画ができなくなります。●常時録画ができなくなります。

### [microSDカードのフォーマットのしかた]

- 緊急録画のファイル数が増え、ファイル保存割当ての上限に達すると、緊急録画ができなくなります。必要に応じてファイルを削除またはmicroSDカードの内容をバックアップして、microSDカードのフォーマットをしてください。
- 録画停止状態で  アイコンをタッチし、設定メニュー画面から「SDカードをフォーマット」を選択してください。

#### [設定メニュー画面]



※フォーマットを行うと緊急録画を含む全ての録画ファイルが消えます。

## 取り付けかた

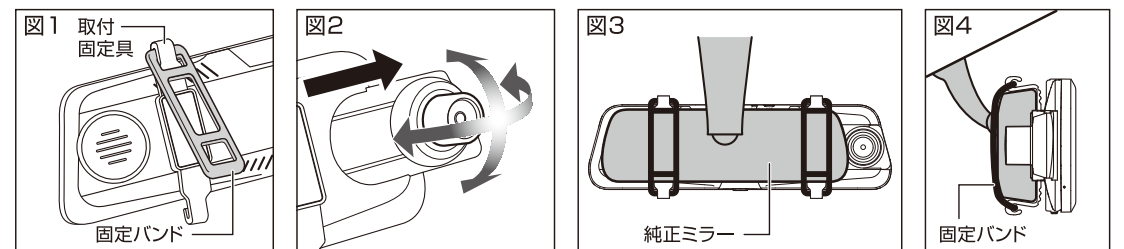
固定バンドを使って、車両の純正ミラーに本製品を取り付けます。

### ⚠️ 取り付け上のご注意

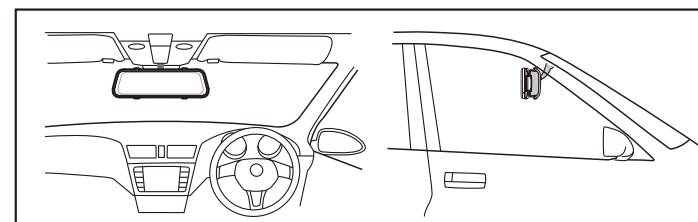
- ⚠️ 警告**
  - 道路交通法や関連する法令・規定などに抵触しないように正しく取り付けしてください。
  - 走行中、運転者によるミラーの角度調整は大変危険ですので絶対にしないでください。
  - 本製品は純正ミラーとは距離感、視界の範囲が異なりますので、ご注意ください。
  - 本製品を運転支援システム搭載車に取り付けるときは、車両の取扱説明書を確認して運転支援システムに影響を及ぼすことがないか確認してください。
- ⚠️ 注意**
  - 取り付けの際は、純正ミラーに負担がかからないように取り付け作業をしてください。
  - 正面から見てなるべく純正ミラーの中心になるように取り付けしてください。
  - 運転手の視界を妨げず、車両前方がすべて映像として記録できる位置に取り付けてください。
  - 衝突安全装置搭載車両については、システム部がカメラの映像範囲内に入ることがあります。
  - 本製品を取り付けるときは、液晶モニターおよびミラー面を指などで強く押ししたり、乱暴に扱うなど無理な力を加えないでください。
  - 本製品の角度調整をするときは、本製品だけを持って調整すると外れる可能性がありますので、純正ミラーと一緒に持って調整してください。
  - 液晶が汚れたときは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。拭き取りのときに強くこすりついたり、溶剤などが付いたものでこすらないでください。液晶モニターの破損や傷の原因になります。
  - 紫外線の影響により本製品の変色および固定バンドが劣化することがあります。
  - 取り付けの前に車両の取扱説明書をよくご覧になり適切に取り付けしてください。
  - 純正ミラーは、車種によっては簡単に角度を調整できるように軽い力で動く仕様になっております。本製品を取り付けることによって、純正ミラーが走行時に揺れることがあります。その場合、純正ミラーの調整が可能な場合がありますので自動車販売店等にご相談ください。
  - 上記の警告・注意に従わず誤った使用・分解・改造をされた際の事故・故障・破損などについて弊社は一切の責任を負いかねます。

### [取り付けかた]

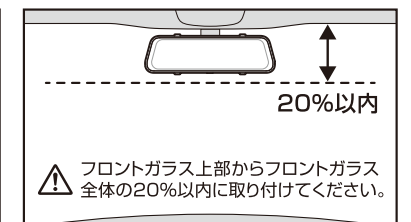
1. 固定バンドを取付固定具の上側に引っ掛けます。(図1)
2. フロントカメラは横方向に引き出すことができます。純正ミラーの形状など必要に応じて引き出してください。またカメラ部分は上下左右に角度が微調節できます。(図2)
3. 純正ミラーを挟み込んで固定バンドを純正ミラーの後ろから取り付け固定具の下側に引っ掛けます。(図3)  
※取り付けの際は本製品をしっかりと支えながら取り付けしてください。
4. もう一つの固定バンドも同じ方法で取り付け、本製品の位置を調整してください。
5. 本製品が確実に固定されていることを確認してください。(図4)  
※本体が水平を維持するように取り付けしてください。  
※本製品のミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。  
※運転者の前方視界を妨げない位置に取り付けてください。



#### ● 取り付けイメージ



#### ● フロントガラスへの推奨取り付け位置

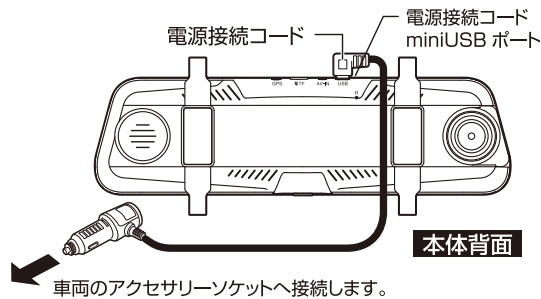


※フロントガラスへの取り付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。

## ■ 取り付けかた

### 電源接続コードの取り付け

必ず車両の電源がOFFになっていることを確認してから接続作業をしてください。

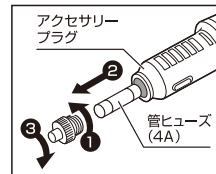


### ⚠ 注意

- ・電源接続コードは必ず付属品を使用してください。付属品以外を使用すると本製品もしくは車両が破損する可能性があります。
- ・安全に運転するために運転の妨げにならないようにコードを配線してください。
- ・お客様自身でコードを切断したり改造したりしないでください。本製品や車両を損傷する危険性があります。

### ヒューズの交換

- 1 アクセサリープラグ先端を反時計方向に回して外します。
- 2 次に中の管ヒューズを引き抜いて新しいヒューズ(4A)と交換してください。
- 3 アクセサリープラグの先端部分を時計方向に回して取り付けます。

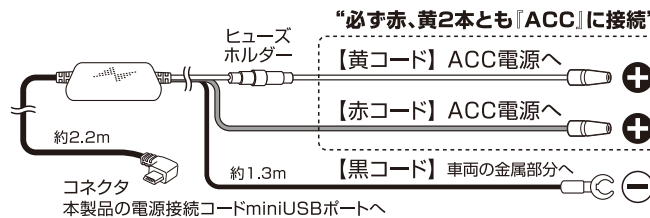


### 接続コードについて(オプション)

作業中のショート防止のため、車両へ接続するときは、車両のバッテリーのマイナス端子を外してから作業してください。車両の電装品類はバッテリー端子を外すとメモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、SDカードのデータをパソコンなどへバックアップを行ってください。配線接続後は車両の電装品が正常に動作することを確認してください。車両の電装品(ブレーキライト・ホーン・ウインカー・ハザード)が正常に作動しない状態で使用すると、火災や事故の原因になります。

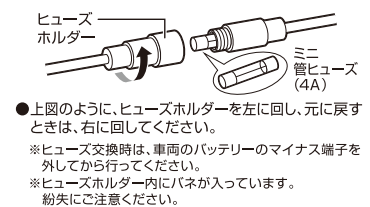
### 【配線の接続方法】

- アクセサリー電源(赤色)および常時電源(黄色)は必ずエンジンキーと連動してON/OFFする車両のアクセサリー電源に接続してください。



### ヒューズの交換

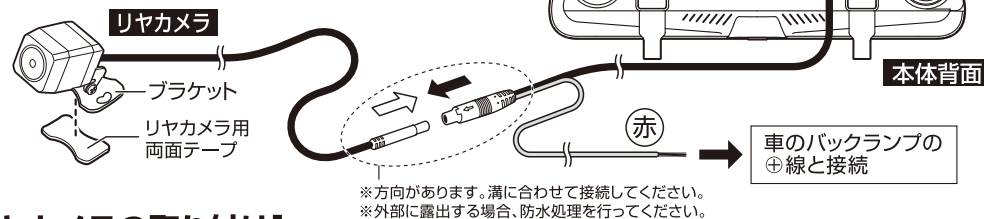
接続機器が電源ONしないときは、接続コード類が外れていないか確認のうえ、ヒューズホルダーの中のヒューズが切れていないか確認してください。



### リヤカメラの配線と取り付け

車両のバックランプ配線との接続(バック連動)

バック連動(リバース連動)でバックカメラとしても使用するとき、車両のバックランプの⊕線にリヤカメラ接続コードの赤色線を接続してください。



### 【リヤカメラの取り付け】

リヤカメラは取り付け場所により取り付け方が異なります。はじめに取り付ける場所を確認し、適切な取り付け方法を選択してください。

### ⚠ 注意

- ・工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。
- ・あらかじめカメラを仮接続し、取り付け位置を確認してください。上下を間違えると映像が逆さまになります。
- ・取り付け位置により太陽光など光の反射の影響を受けやすくなります。取り付けるときは適切な位置を確認しながら取り付けてください。また、車内に取り付けたときは、光の差し込み具合などにより車内がリヤガラスに映り込み、映像が見えにくいことがあります。

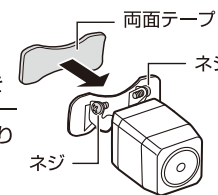
## ■ 取り付けかた

1. 取り付け場所が決まったら、貼り付ける面をきれいに清掃してください。油分や汚れが付着した状態で貼り付けると走行中にリヤカメラが外れる危険性があります。
2. 両面テープ片側のフィルムを剥がして、ブラケットに貼り付けてください。
3. リヤカメラのブラケットに貼りつけた両面テープのフィルムを剥がして取り付け位置に押し付けます。  
※外気温が10℃以下の低温時には十分な接着力が得られないことがありますので、低温時を避けてください。また炎天下など高温時も粘着力が得られないことがあります。
4. 液晶モニターの画像を確認しながらリヤカメラの角度を調整してください。

### 車外 取り付けの場合

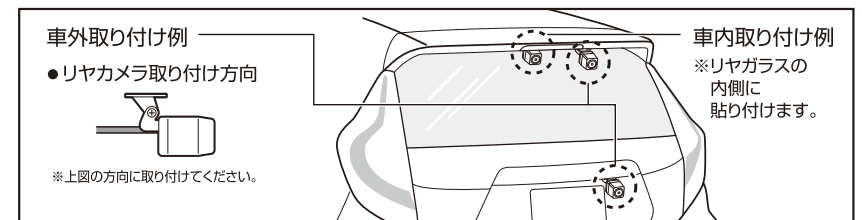
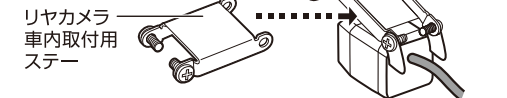
付属の両面テープでしっかり固定します。

画面を確認して角度を決めてから⊕ドライバーでネジを締めてしっかり固定します。



### 車内 取り付けの場合

⊕ドライバーでブラケットを固定しているネジを取り外し、ブラケットとカメラの間にリヤカメラ車内取付用ステーを取り付けてください。



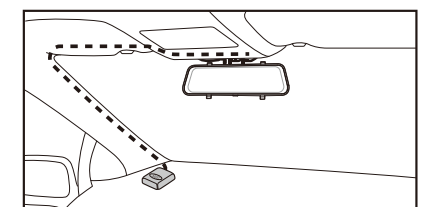
### ⚠ 注意

- ・ブラケットにしっかりと固定されていない場合、走行中にリヤカメラが落下し、損傷する可能性があります。
- ・車内に取り付けたときに、プライバシーガラスやフィルムなどで映像が見えにくいときは、リヤカメラを車外に取り付けてください。
- ・リヤカメラを車外へ取り付けるときは、熟練した技術が必要です。必ず専門の技術者へ相談または技術者が取り付けてください。
- ・リヤカメラがナンバープレートにかからないように取り付けてください。
- ・バックドアやトランクの開閉時にコードがあたらないことを確認してください。
- ・リヤカメラを車内に取り付けたときに、撮影範囲の半分程度に車内が撮影されているときは、車外の映像が白くなることがあります。この場合はリヤカメラの取り付け位置を変更するかカメラの角度を変更し、車外が鮮明に撮影されるように調整してください。
- ・車両のラジオアンテナやテレビアンテナ、その他の電子機器の近くに取り付けるとノイズの影響を受けることがあります。この場合、影響を受けている機器から離して取り付けてください。
- ・リヤカメラ取り付け後、24時間以内に水などがかからないようにしてください。また直ぐに走行されると振動などにより外れる可能性があります。

### GPSユニットの取り付け

GPSユニットを車内に取り付けるときは、ダッシュボードの上などなるべく水平な場所に取り付けてください。

1. 取り付け場所が決まったら、貼り付ける面をきれいに清掃してください。油分や汚れが付着した状態で貼り付けると走行中に外れる危険性があります。
2. GPSユニットからフィルムを剥がして、取り付け位置に押し付けます。



### ⚠ 注意

- ・外気温が10℃以下の低温時には十分な接着力が得られないことがありますので、低温時を避けてください。また炎天下など高温時も粘着力が得られないことがあります。
- ・貼り直しは粘着テープの粘着力が低下しますのでしないでください。
- ・GPSユニットは車両のボディなどで衛星の電波が遮られない所に取り付けてください。
- ・GPSユニットを塗装したりしないでください。性能が落ちることがあります。
- ・GPSユニットは本製品から離して取り付けてください。近くに取り付けると衛星からの受信感度が低下することがあります。
- ・車両によりGPSの電波を通さないガラスがあります。車内で受信しにくいときは車外への取り付けを試してください。

## ■ 使いかた

### 電源ON/OFFについて

#### 『電源のON』

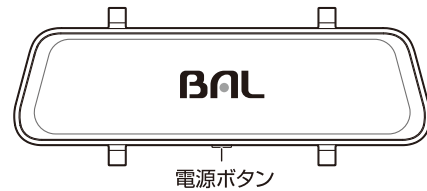
本製品の電源接続コードを車両のアクセサリソケットまたは電源端子に接続し、アクセサリ電源をONまたはエンジンを始動すると、本製品の電源が自動的にONになり、オープニング画面が表示されたのちシステムが起動します。手動で電源をONにするときは、電源ボタンを約2秒長押しするとONになります。

※電源をONにしてから起動するまで約3秒かかります。運転を開始するときはご注意ください。

#### 『電源のOFF』

車両のアクセサリ電源をOFFまたはエンジンを停止すると、クロー징画面が表示されたのち本製品の電源が自動的にOFFになります。手動で電源をOFFにするときは、電源ボタンを約2秒長押しするとOFFになります。

※電源をOFFにしてから完全に停止するまで約15秒かかります。



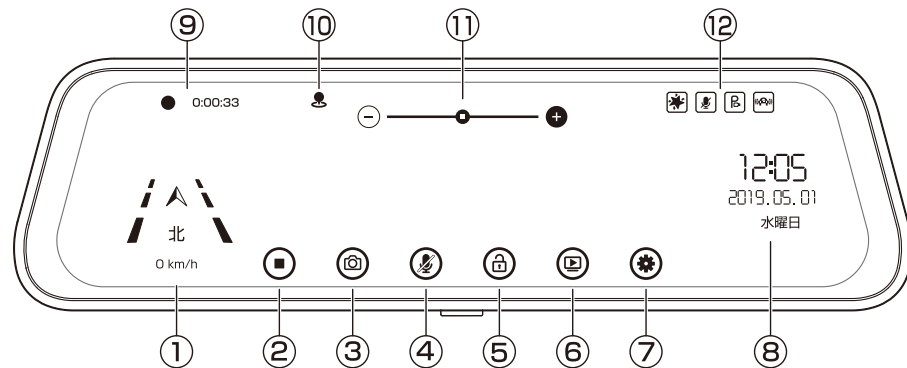
#### ⚠ 注意

・本製品はバッテリー電圧によって、エンジンを始動したときに起動しないことがあります。この場合エンジン始動後に本製品の電源ボタンを押して電源をONにしてください。また、長時間ご使用されないときは本製品への充電不足になっていることがありますので、この場合はエンジンを始動させて充電してください。

#### アイドリングストップ車での使用の場合

・本製品をアイドリングストップ車で使用している場合、車両のバッテリー電圧によって、アイドリングストップの状態からエンジンが始動したときに本製品の電源がOFFになることがあります。この場合、本製品の電源ボタンを押して電源をONにしてください。







### 液晶モニター表示



#### [表示/設定メニューリスト]

- ① GPS が正常に受信されると方角表示されます。※停車中は方角表示しません。
- ② 録画開始/ 停止アイコン  
 白 ● …… 録画状態      赤 ● …… 録画停止状態  
 このアイコンをタッチすると、手動で録画の開始/ 停止ができます。
- ③ 静止画像アイコン  
 このアイコンをタッチするとフロントカメラの静止画像を撮影します。
- ④ 音声の録音をON/OFF  
 このアイコンをタッチすると録画時の音声録音のON/OFF ができます。
- ⑤ ロックアイコン  
 このアイコンをタッチすると、録画しているファイルをロックして保護します。

## ■ 使いかた

- ⑥ ファイル再生モードアイコン (P.14 “再生モード” 参照)  
 このアイコンをタッチすると記録されたファイルの再生モード画面に切り替わります。  
 ※再生モード画面に入るには録画を停止する必要があります。
- ⑦ 設定メニューアイコン (P.13 “設定メニュー画面” 参照)  
 このアイコンをタッチすると設定メニュー画面に入ります。  
 ※設定メニュー画面に入るためには録画を停止する必要があります。
- ⑧ 時刻/ 日付/ 曜日表示します。  
 ※GPS ユニートを接続しているときは自動的に補正します。GPS を受信していないときは手動で設定してください。
- ⑨ 録画中アイコン (P.11 “録画について” 参照)  
 録画中は赤 “●” が点滅し、赤色で経過時間表示します。録画していないときは録画可能時間が白色で表示されます。
- ⑩ GPS 受信アイコン  
 GPS が正常に受信されると緑色に表示されます。受信していないときは赤色表示されます。  

- ⑪ 明るさ設定アイコン  
 「LCD 明るさ調整」を「手動」に設定しているときに表示され左右にフリック操作すると画面の明るさを調整できます。  

- ⑫  G センサーを設定したときに表示します。  
 (P.12 “緊急録画 (イベント記録)” 参照)
-  駐車衝撃監視を設定したときに表示します。  
 (P.12 “駐車衝撃監視録画 (イベント記録)” 参照)
-  音声の録音がオフのときに表示されます。
-  夜景モードをオンにしたときに表示されます。  
 (P.13 “設定メニュー画面” 参照)

※microSDカードが挿入されていないときは ②③④⑤⑥ は操作できません。

※約10秒間操作しないと設定メニューは非表示となります。設定メニューを表示させたいときは液晶パネルをタッチしてください。

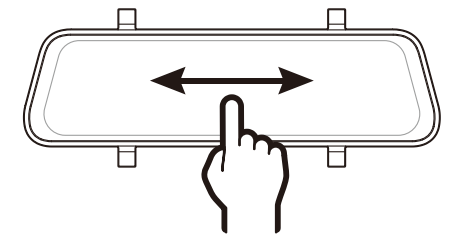
#### [表示される映像]

- 本体の電源ボタン/モード切替ボタンを押すと、通常のルームミラーとして使用できます。
- 停車中はフロントカメラの映像を液晶モニターに表示させたり、撮影した動画を液晶モニターで確認できます。

#### [表示モードを切り替える]

- 液晶モニターを指で横にスライドさせるとフロントカメラとリヤカメラの画像が切り替わります。

※リヤカメラの映像は左右反転し表示されますが、記録したファイルを再生するときは実際の向きに補正されます。




停車中、駐車中等、録画停止操作やフロントカメラへの切り替え操作等が行われた場合、30秒間操作していないときは自動的にリヤカメラ映像画面に戻り、録画を再開します。これにより万が一の時の録画漏れを防止します。



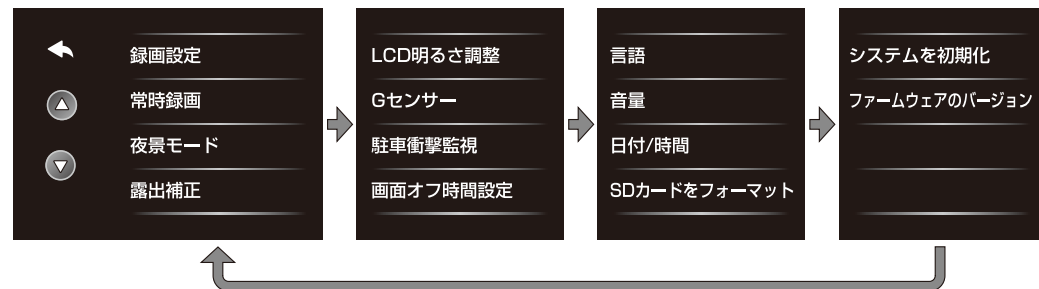
# ■ 使いかた

## 設定メニュー画面

録画停止状態で  アイコンをタッチすると、設定メニュー画面が表示されます。

(▲)は工場設定値です。

録画設定	1080P(▲)	録画ファイルの記録解像度を1920×1080に設定します。
	720P	録画ファイルの記録解像度を1280×720に設定します。
常時録画時間	1分(▲)／3分／5分	常時録画(ループ録画)で記録される1ファイルごとの録画時間を設定します。
夜景モード	オン／オフ(▲)	露光時間を伸ばして暗い夜景を明るく記録することができます。
露出補正	-2／-1／0(▲)／1／2	適正露出(0)の状態から明るくしたいときは+に、暗くしたいときは-に変更して補正することができます。
LCD明るさ調整	手動(▲)／MAX	液晶画面の明るさを調整します。「手動」に設定したときは表示/設定メニュー画面で調整が可能です。 ※MAXを選択された場合は明るさが最大で固定され、表示/設定メニュー画面で調整はできません。
Gセンサー	オフ(▲)／高／中／低	Gセンサー(衝撃感知)の感度を設定します。 高:衝撃を検出しやすくなります。 低:衝撃を検出しにくくなります。
駐車衝撃監視	オフ(▲)／高／中／低	Gセンサー(衝撃感知)の感度を設定します。
画面オフ時間設定	オフ(▲)／1分／3分	液晶画面の表示時間を設定します。「オフ」に設定すると常時カメラの画像が表示されます。
言語	日本語(▲)	本製品の表示言語を選択します。
	English	
	簡体中文／繁体中文	
音量	オフ／高／中(▲)／低	操作音量を設定します。
日付/時間	手動設定	GPSユニットを接続しているときは自動的に設定します。手動設定をタッチすると手動で設定します。
SDカードをフォーマット	はい	「はい」をタッチすると、SDカードをフォーマットします。 ※フォーマットする前に重要なデータをPCなどにバックアップしてください。
システムを初期化します	はい	「はい」をタッチすると、製品のシステムを初期化します。
ファームウェアのバージョン	本製品のバージョンを表示	現在のバージョンを表示します。



# ■ 使いかた

## 静止画像を撮影する

 アイコンをタッチすると、フロントカメラの映像が撮影されます。

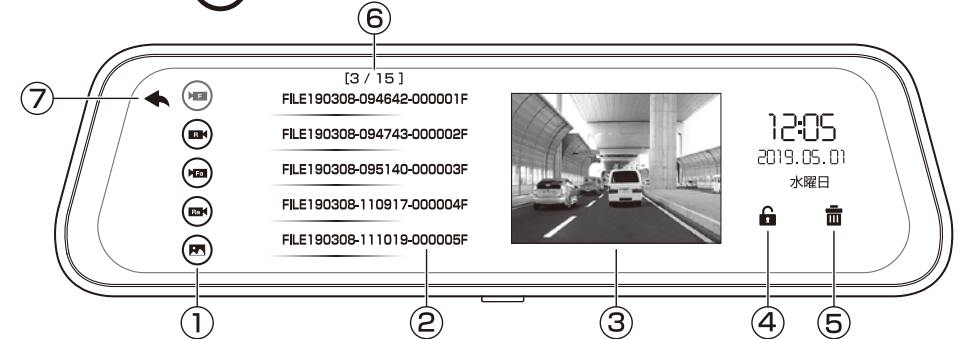
- フロントカメラの静止画像解像度は「1080Pのときは1920×1080」、「720Pのときは1280×720」で保存されます。
- 録画中に静止画を撮影しても録画は中断されません。











※本製品にて再生時はフロントカメラの静止画のみ表示可能です。  
※microSDカードのフォルダーにはフロントカメラとリヤカメラの静止画が記録されています。  
PCにて閲覧時のみ確認できます。

## 再生モード

録画停止状態で  アイコンをタッチすると再生モードが表示されます。



-  **常時録画 (フロント)**  
このアイコンをタッチすると常時録画 (ループ録画)のフロントカメラのファイルを表示します。
-  **常時録画 (リヤ)**  
このアイコンをタッチすると常時録画 (ループ録画)のリヤカメラのファイルを表示します。
-  **緊急録画 (フロント)**  
このアイコンをタッチすると緊急録画 (駐車衝撃監視録画)のフロントカメラのファイルを表示します。
-  **緊急録画 (リヤ)**  
このアイコンをタッチすると緊急録画 (駐車衝撃監視録画)のリヤカメラのファイルを表示します。
-  **静止画**  
このアイコンをタッチすると静止画 (フロントカメラ)のファイルを表示します。
- ファイル名**  
記録されたファイルを表示します。
- サムネイル画面**  
記録された映像を表示します。
-  **ロック/解除**  
このアイコンをタッチすると選択したファイルのロック/解除ができます。
-  **削除**  
このアイコンをタッチすると選択したファイルを削除することができます。
- ファイル数表示**  
選択されているフォルダーにあるファイルの数量を表示します。
-  **設定メニュー画面に戻ります。**



## ■ 使いかた

### ファイルの表示

ファイル名をタッチすると、サムネイル画面に記録された映像が表示されます。



ファイル名      サムネイル画面

### 映像の再生

サムネイル画面をタッチすると、液晶モニターに記録された映像が再生されます。



アイコン	機能
	再生/一時停止
	前/次のファイルに移動します。
	ファイルを早戻し/早送りします。
	選択したファイルを保護/解除します。
	選択したファイルを削除します。
	ファイル表示画面に戻ります。

### ファイル名について

- 常時録画されたファイル  
FILExxxxxx-xxxxxx-xxxxxxF ..... フロントカメラで記録したファイル  
FILExxxxxx-xxxxxx-xxxxxxR ..... リヤカメラで記録したファイル
- 緊急録画されたファイル  
EMERxxxxxx-xxxxxx-xxxxxxF ..... フロントカメラで記録したファイル  
EMERxxxxxx-xxxxxx-xxxxxxR ..... リヤカメラで記録したファイル
- 静止画ファイル  
IMGxxxxxx-xxxxxx-xxxxxxF ..... フロントカメラで記録したファイル

## ■ ファームウェアについて

### ファームウェアをアップデートする

仕様変更、機能追加などにより、本体のファームウェアが更新されることがあります。弊社ホームページ上にて最新のバージョンが公開されているときは、パソコンなどからアップデートしてください。最新の状態でご利用いただくために、定期的にホームページをご確認いただくことを推奨します。

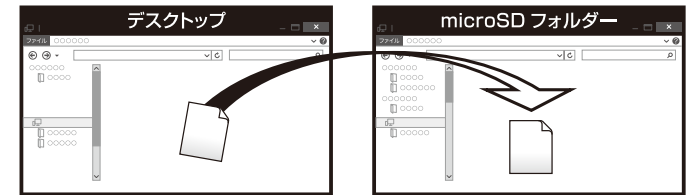
最新のバージョンは弊社ホームページの製品ページでご確認いただけます。

URL <http://www.bal-ohashi.com>

製品ページ

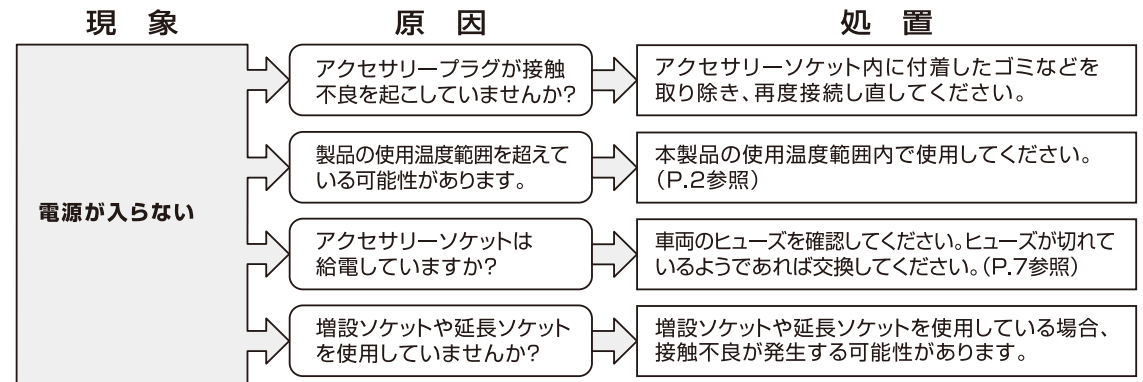
### 【パソコンでアップデートする】

1. ホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてください。  
※ホームページ『■必ずお読みください』の項目をよく読んでください。
2. 本製品からmicroSDカードを取り出し、パソコンに挿入するかカードリーダーなどを使ってmicroSDカードとパソコンを接続してください。
3. 接続したmicroSDカードのフォルダーにダウンロードしたファームウェアを移動(コピー)してください。  
※ファームウェアのファイル名称は変更しないでください。  
※書き込み中は絶対にmicroSDカードは取り外さないでください。



4. ファイルの移動が完了したら、microSDカードをパソコンから取り出し、本製品に挿入してください。
5. 本製品の電源がONになると、自動的にファームウェアがアップデートされます。アップデート後は電源がOFFとなります。本製品の電源スイッチでONにし、microSDカードをフォーマットしてください。  
※ファームウェアが正常にアップデートされると、microSD内のファームウェアは自動的に削除されます。  
※アップデート後は本製品の設定がリセットされますので、改めて設定をしてください。

## ■ 故障と処置



## ■ 故障と処置

現象	原因	処置
誤作動をする	本製品のシステムが誤作動を起こしている可能性があります。	本製品のリセットボタンを押してください。(P.4参照)
再起動するときがある	アイドリングストップ車の場合、バッテリーの状態によりエンジン始動時に再起動することがあります。	車両のバッテリー電圧を確認してください。
録画できない またはファイルが壊れている	microSDカードが本体に挿入されていますか?	microSDカードが本体に挿入されていることを確認してください。(P.5参照)
	microSDカードの読み取りエラーが発生していませんか?	microSDカードを本製品でフォーマットしてください。フォーマットしても改善されないときは別のmicroSDカードで試してください。(P.5参照)
	microSDカードの寿命ではないですか?	microSDカードには寿命があります。1日2時間程度の使用で2~3年を目安に新しいものと交換してください。
録画したはずのファイルがない	microSDカードの保存領域が上限に達したときは古いファイルから上書きされます。	録画したファイルを残したいときは、定期的にバックアップすることをお勧めします。
ファイルの読み込みが遅い	microSDカードのスペックを確認してください。	microSDカードはClass 10を使用してください。
緊急録画が頻繁におこなわれる	Gセンサーの感度設定が適切ではない可能性があります。	設定メニュー画面の「Gセンサー」で設定を変更してください。(P.13参照)
液晶画面にドット抜けがある	液晶画面の特性です。不良ではありません。	
GPSが受信できない	GPSユニットは接続されていますか?	GPSユニットを本製品に接続してください。(P.8参照)
	GPS電波が受信しにくい場所を走行していませんか?	トンネル内や高層ビル街などはGPS電波を受信しにくいことがあります。
	本製品が起動直後ではないですか?	本製品の起動直後はGPS電波を受信していないことがあります。GPS電波を受信しやすい環境下で再度確認してください。
		本製品を初めて使用するときは、GPS測位が完了するまでに時間がかかることがあります。
		電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルムなどで着色しているときは、GPSを測位できないことがあります。
走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測している為、測位状況によっては実際と異なることがあります。		
日時がずれている	GPSが受信できない環境に長期間保管した場合、時刻にズレが生じる場合があります。	GPS電波を受信しやすい環境下で再度確認してください。
信号機の表示が消えてしまう		映像の記録周期とLED式信号機の周期によっては、一瞬信号機表示が消えて見えることがあります。また逆光や、トンネル入出時のように、急に明るさが変化する環境によってはLED信号機表示が確認できないことがあります。そのときは前後の記録映像や周囲の車両の状況から判断してください。LED信号機表示が確認できないことによる事故やトラブルに関して弊社は一切の責任を負いかねます。

## ■ 交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度について

下記の申込用サイトに登録してください。  
<https://jdrc-omimai.sakura.ne.jp/>

**今すぐ事前登録を!**  
 本制度のご利用には事前登録が必要です。

商品パッケージにあるマーク、または下のQRコードから申込用サイトにアクセスすることができます。事前登録されないと補償金をお支払できませんので、購入後1か月以内の登録をお願い致します。

**費用負担 無し**  
(費用はメーカーが負担します)

**買替補償金 4万円**  
(一度)

**交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度とは**  
 ドライブレコーダーのご購入者及び使用者が、ドライブレコーダーを設置した車両でレッカー搬送を伴う交通事故にあわれた場合、ドライブレコーダーの再購入費用及びその諸経費を補てんする目的で、ドライブレコーダー協議会から一律4万円の補償金が支払われる制度です。

**内容**

<b>補償金の範囲</b>	<b>受取人</b>
① ドライブレコーダーの再購入費用 ② SDカード再購入費用 ③ ドライブレコーダーの撤去費用 ④ ドライブレコーダーの再設置費用 ⑤ 交通事故証明書の発行費用 ⑥ 補償金申請に関する資料及び物品の送料 ⑦ その他、上記に関する諸経費	本制度に加入しているご本人様となります。 (97.0%の場合は、法定相続人となります。)
<b>対象となる交通事故</b>	<b>事故時における申請資料</b>
① レッカー搬送を伴う自動車事故 (盗まれた場合、車両が盗難された場合、車両が故障された場合は除きます。)	下記資料をご提出ください ① ドライブレコーダー本体 ② ドライブレコーダーの事故映像データの記録されたSDカード ③ 交通事故証明書(写しでも可) ④ レッカー搬送の証明書類 ⑤ 再購入された同一メーカーのドライブレコーダーのレシート ⑥ 補償金請求書
<b>補償金額</b>	<b>補償期間</b>
一律4万円	登録日の翌日より1年間
<b>ご加入費用</b>	
無料(費用はメーカーが負担します)	

**JDRC** ドライブレコーダー協議会 補償金制度担当 株式会社リムライン  
 お問い合わせ e-mail : [info@jdrc.gr.jp](mailto:info@jdrc.gr.jp)  
T14-0013 東京都品川区南大井6丁目3番7号 スリーエム南大井ビル4F FAX: 03-5753-0086

## ■ PCビューアについて

本製品で使用する専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページの製品ページからダウンロードしてご利用ください。

最新のバージョンは弊社ホームページの製品ページでご確認いただけます。

**URL** <http://www.bal-ohashi.com>

 **製品ページ**

## ■ 製品仕様

本体		リヤカメラ	
品番	No.5600	カメラ	イメージセンサー 200万画素 CMOSセンサー WDR
品名	前後録画ドライブレコーダーミラー		視野角(レンズ画角) 対角:110° / 水平:90° / 垂直:45°
液晶	9.7V型HD IPSディスプレイ(液晶解像度:1280×320)	最大記録画角	対角:110° / 水平:90° / 垂直:45°
記録媒体	microSDカード(8~128GB) Class 10推奨	記録解像度	動画 1080P:1920×1080
カメラ	イメージセンサー 200万画素 CMOSセンサー WDR 視野角(レンズ画角) 対角:148° / 水平:118° / 垂直:69° F値 F1.9	静止画	1080P:1920×1080
		有効画素数	200万画素
最大記録画角	対角:148° / 水平:118° / 垂直:69°	フレームレート	25.04fps
記録解像度	動画 1080P:1920×1080 720P:1280×720 静止画 1080P:1920×1080	ファイル形式	動画 MOV
		使用電圧	DC5V
フレームレート	27.5fps	消費電力	0.6W
記録方式	常時録画(ループ録画) 緊急録画(Gセンサー/手動) 駐車監視モード 衝撃監視録画	コード長	約7m
		ループ録画時間	1分/3分/5分
Gセンサー	オフ/高/中/低	本体サイズ	約24(W)×34(D)×24(H)mm
ファイル形式	動画 MOV 静止画 JPEG	質量	約38g ※ブラケット含む
音声録画	有 ※オン/オフ可能	動作温度範囲	-10℃~60℃
映像外部入力	専用リヤカメラ入力(専用ミニプラグ)	内蔵バッテリー	リチウムポリマー電池 500mAh
使用電圧	DC12V/24V	消費電力	最大12W
本体サイズ	約257(W)×19(D)×73(H)mm ※取付固定具除く		

**microSDカード**

microSDHC	16GB Class 10
-----------	---------------

※改良のため、予告なく仕様および外観を変更することがあります。  
 ※この取扱説明書で使用されている画像・イラストはイメージです。  
 実際の製品や画像とは異なることがあります。